



見る「私」を作り変える 驚異の芸術論

セザンヌからスミソンに至る近現代美術、ゴダールの3D映画、トンネル工事の記録写真、そして同時代の演劇やダンスまで多様なジャンルを横断してひろがる「芸術」という営みを、一貫した方法論的精密さで分析する。

かたちは思考する 平倉 圭:著 東京大学出版会
A5判上製 360頁 2019年刊 ISBN:9784130101431 3,800円



上野、日比谷、青山、代々木… 東京の創られた伝統

明治2年の東京奠都（てんと）以降の、国家と天皇に関わる儀礼空間を、式場の建築、敷地全体、行幸啓経路を一体としてとらえ、その全体像を明らかにする。伝統の継承と模倣、創造という観点から、近代天皇制が東京の都市空間の形成に与えた影響を考察する。

近代天皇制と東京 長谷川 香:著 東京大学出版会
A5判上製 400頁 2020年刊 ISBN:9784130668613 7,000円



人々の抵抗はなぜ始まったのか パレスチナ問題に新視角を

1987年にパレスチナでなぜイスラエルに対する民衆蜂起（インティファダ）が起きたのか？ パレスチナ人の抵抗の歴史と蜂起の背後にあった構造的な変化を、さまざまな史料を渉猟しスリリングに描き出す。第9回東京大学南原繁記念出版賞受賞作。

蜂起〈インティファダ〉 鈴木啓之:著 東京大学出版会
A5判上製 400頁 2020年刊 ISBN:9784130363013 5,800円

* 価格は税抜きです

受賞出版社紹介

第36回梓会出版文化賞

東京大学出版会

当会は、1951年3月、ときの東京大学総長、南原繁先生の発意により日本の国立大学では初めての大学出版部として設立され、今日まで学問の普及、学術の振興を図ることを目的とした出版活動を継続してまいりました。70周年を迎える本年までの総刊行点数は7800点に達します。



第36回梓会出版文化賞特別賞

ゲンロン

株式会社ゲンロンは、2010年4月に、批評家の東浩紀を中心に創業されました。人文知の新しい交流の場を作ることを目的としています。現在は上田洋子代表のもと、出版、カフェ、スクール、友の会、映像配信プラットフォーム「シラス」運営の5つを主な事業としています。



第17回新聞社学芸文化賞

京都大学学術出版会

世界に本邦の研究を問う英文書から、高校生向けの「学術選書」まで、学界と社会を繋ぎ、世界の見方を変える多様で幅広い出版に努めています。受賞作が半数を占める「地域研究叢書」や既に140巻を越えた「西洋古典叢書」など、シリーズ企画も豊富です。



晶文社

1960年に創業した小社は昨年60周年を迎えました。節目の年に身に余る賞をいただき、社員一同大変感謝しております。今後も創業の理念、「もっとも先端的で、同時にもっとも伝統的なもの」を胸に創造的出版に尽力して参ります。



梓会 カモノハシ 通信

Azusa-kai Library Club



書店は本の森。出版梓会は、事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

第36回梓会出版文化賞、
第17回新聞社学芸文化賞が
決まりました！

この賞は、優れた出版活動を行っている“出版社”を顕彰するユニークな賞です。

今年は残念なことに、贈呈式が
できませんでした。
この号では受賞社の紹介と各社
イチオシの近著をご紹介します。
賞の詳細は、梓会HPまで。



番外編
2021

出版梓会 <http://www.azusakai.or.jp/>



ソクラテスの対話をやりなおす 哲学と芸術の根本に帰る対談集

批評家の東浩紀が2012年以降に行なった対談・鼎談を厳選した書籍です。日本の実存、神学とSF、演劇と公共、国体とジェンダーなど、その論点は多岐にわたります。「対話」という原初的な方法で、人文知が再構築されるプロセスが記録されています。

新対話篇 東浩紀:著 ゲンロン
四六判並製 384頁 2020年刊 ISBN:9784907188368 2,400円



「顔」と「指」から読み解く スマホ時代の写真論

写真家の大山顕が、スマートフォンとSNSの時代における写真について論じた書籍です。誰もがカメラを持ち歩く時代に、自撮り、ドローン、顔認証、ラスベガスのテロ、香港のデモなど広範な話題を横断して「写真」の再定義を試みます。

新写真論 大山顕:著 ゲンロン
四六判並製 320頁(うちカラーグラビア8頁) 2020年刊
ISBN:9784907188351 2,400円



人気批評誌の第2期が始動 知の最前線へ多角的に迫る!

批評家の東浩紀が編集長をつとめる批評誌『ゲンロン』の第10巻。平成から令和という時代の変節点における文学、皇室、AIと人間を考える座談会や論考を掲載しています。アジアの若手哲学者の論考も収録し、地域と時代を架橋する内容になっています。

ゲンロン10 東浩紀:編 ゲンロン
A5判並製 328頁 2019年刊 ISBN:9784907188320 2,400円



コツコツと本を作っている出版社は、読者に届くかどうか? 手紙のような気持ちで送り出しています。読者に本を手渡してくれる書店のみなさま、いつもありがとう♥



大胆な「計画出産」が、実は、 女性の地位を大きく変えた

近代化と同時に始まった中国の生殖コントロール。強権の行使と表裏をなした黙認・容認、抵抗と打算。政策を巡る実践の中で、女性は酷く傷ついたが、結果として男性中心の中国사회は大きく揺らいだ。隣人たちの経験は、日本社会のジェンダー構造をも鋭く問う。

一人っ子政策と中国사회 小浜正子:著 京都大学学術出版会
A5判上製 390頁 2020年刊 ISBN:9784814002627 3,000円



歴史の中で主体的に生きた 農村女性の実像に迫る

『女工哀史』の時代を経験した製糸女工へのインタビューや労働歌の分析を通じて、近代が周縁化してきた、農村女性の肯定的な労働意識を描く。抑圧の歴史という一面的な見方とも、「女性活躍」などという甘い言葉とも一線を画す社会史。和辻哲郎文化賞受賞。

『女工哀史』を再考する サンドラ・シャル:著
京都大学学術出版会
A5判上製 506頁 2020年刊 ISBN:9784814002313 6,200円



ダチョウの脇の下から 火をかすめ取った創造主!?

草原に棲む動物たちが、ひしめきあい、語り合いだまし合い、人に変身する。サバンナに生きる原初の想像力は軽々と時空を越える。半世紀にわたってブッシュマンを追ってきた著者が、特徴的な音韻も再現し語りのまま書き起こした29編。QRコードによる音声付き。

ブッシュマンの民話 田中二郎:採録・解説 京都大学学術出版会
A5判並製 288頁 2020年刊 ISBN:9784814002498 2,800円



事件の村を自分が訪ね歩いている ような圧倒的な臨場感

2013年の夏、わずか12人が暮らす山口県の集落で、一夜にして5人の村人が殺害された。犯人の家に貼られた川柳は〈戦慄の犯行予告〉として世間を騒がせたが……気鋭のノンフィクションライターが、〈山口連続殺人放火事件〉の真相解明に挑んだ新世代〈調査ノンフィクション〉。

つげびの村 高橋ユキ:著 晶文社
四六判並製 304頁 2019年刊 ISBN:9784794971555 1,600円



他者とともにも人生の軌跡を 刻むことの尊さ

がんの転移を経験しながら生き抜く哲学者と、臨床現場の調査を積み重ねた人類学者が、死と生、別れと出会い、そして出会いを新たな始まりに変えることを巡り、20年の学問キャリアと互いの人生を賭けて交わした20通の往復書簡。

急に具合が悪くなる 宮野真生子・磯野真穂:著 晶文社
四六判並製 256頁 2019年刊 ISBN:9784794971562 1,600円



戦後最悪といわれる 両国間のほつれを解くために

アイゴ(アイゴー)、困っています。もつれた結び目を解くために、みなさんの知恵を貸してください。荒れるネット言説、政治のねじれ、歴史修正主義……。日韓をめぐるさまざまな事象は、「問題」ではなく「答え」である。11人の寄稿者が考える、日韓相互理解への道すじ。

街場の日韓論 内田樹:編 晶文社
四六判並製 268頁 2020年刊 ISBN:9784794970404 1,700円